

富 劍 連 第 1 号
令和4年1月10日

加 盟 団 体 長 殿

(一財) 富山県剣道連盟
会長 牧 田 稔
<公印省略>

第70回全日本都道府県対抗剣道優勝大会富山県選考会の開催について

標記大会を、下記のとおり実施しますので、所属会員に趣旨を周知徹底され、多数の参加が得られるよう選手の申込等にご配慮をお願い致します。

記

1 趣旨

(一財)富山県剣道連盟が開催する、全日本都道府県対抗剣道優勝大会富山県選考会を通じて、剣道技能の向上と剣道の普及発展を図ると共に全日本都道府県対抗剣道優勝大会に送り出し、優秀な成績を収めることにある。

2 期日 令和4年 2月20日(日) 12時00分 受付(12:20完了)
12時40分 開会式

3 会場 新湊アイシン軽金属スポーツセンター剣道場
〒934-0039 富山県射水市久々湊467 TEL0766-82-8277

4 参加資格

- (1) 原則 (一財) 富山県剣道連盟の登録会員であること。また、各都道府県で実施する予選会への出場は1カ所のみとする。ただし、大学生の場合、予選会へ出場できる都道府県は、大学生個人が登録している剣道連盟または出身高校のある剣道連盟のいずれか1ヶ所とする。
- (2) 出場資格・区分
 - 先鋒 高校生
 - 次鋒 大学生(高校3年生で大学進学が確定した者については出場を認める)
 - 五将 年齢18歳以上35歳未満の者、警察職員・教職員・高校生・大学生を除く
 - 中堅 教職員の者、年齢に制限なし
 - 三将 警察職員の者、年齢に制限なし
 - 副将 35歳以上の者、警察職員・教職員を除く
 - 大将 50歳以上、剣道教士七段以上の者
- (3) 年齢基準は、大会前日(4月28日)とする。
- (4) 職業資格の基準、高校生、大学生の資格基準は大会当日とする。

- (5) 中学・高校の非常勤講師については、教職員枠で出場のこと。
(6) 職業の移動・変更等によって、大会当日に職業資格が該当しなくなった場合は出場できなくなるので留意のこと。

5 試合の種別

- (1) 次鋒から大将まで、各年齢・職業資格ごとに個人試合を行う。
(2) 先鋒（高校生）については、県高体連がその取決めに従って（一財）富山県剣道連盟まで選手を推薦する。

6 試合方法

4名以上の場合はトーナメント方式、3名の場合はリーグ戦とする。

7 試合及び審判

- (1) 全日本剣道連盟剣道試合・審判規則、同細則及び新型コロナウイルス感染症が終息するまでの暫定的な試合・審判法による。

(2) 試合時間

トーナメント方式、リーグ戦とも、4分間3本勝負とする。勝敗の決しない場合は3分間の延長戦を3回行う。それでも勝敗が決しない場合は3分間の休憩を挟み、勝敗の決するまでこれを繰り返す。

- 8 表彰 10名以下の場合、 第1位のみ表彰する。
参加人数が、10名～20名の場合、第1位・第2位を表彰する。
20名以上の場合、 第1位・第2位・第3位を表彰する。

9 参加申込み

加盟団体で取りまとめの上、Eメールにて添付 Excel ファイルで以下までお申込みください。

申込先 ~~(一財)富山県剣道連盟 大会部 武波一昭~~
~~ichizai.tomikenren.moushikomi@gmail.com~~

山内武道具店内富山市
剣道連盟事務局へ

締切 ~~令和3年2月7日（月）~~ 必着厳守

令和4年2月2日（水）

10 安全対策

大会開催中に事故等が発生した場合は、できる限りの応急処置はいたしますが、その後については、各自で処置をお願いします。

11 剣道用具の取扱について

本予選会における、剣道用具の取扱については、安全性・公平性の観点から、以下のとおりとする。

- (1) 竹刀については次の事項を遵守すること
 - 竹刀の長さ（全長・先革長）、重さ、太さ（先革先端大変直径値および先端より8cmのちくとう部対角直径値）は、表1、表2および図のとおりとする。
 - ピース（四つ割り竹）の合わせに大きな隙間のあるものや安全性を著しく損なう加工、形状の変更したものの使用は認めない。
- (2) 小手については次の事項を遵守すること
 - 小手は、こぶしと前腕（肘から手首の最長部）の1/2以上を保護し、安全性を保つため小手頭部および小手ぶとん部は十分な打突の衝撃緩衝能力がある。
 - 小手ぶとんのえぐり（クリ）の深さについては小手ぶとん最長部と最短部の長さの差が2.5cm以内である。
- (3) 面については次の事項を遵守すること
 - 面ぶとんは安全性を保つため、肩関節を保護する長さがあり、十分な打突の衝撃緩衝能力があるものとする。
- (4) 剣道着については次の事項を遵守すること
 - 剣道着の袖は、安全性を保つため、肘関節を保護する長さを確保すること。（構えたときに肘関節が隠れること）

表1 一般・大学生の竹刀の長さ、太さ、重さ

長さ (全長)	重さ	太さ	
		先端部最小直径	ちくとう部最小直径
120センチメートル以下	510グラム以上	26ミリメートル以上	21ミリメートル以上

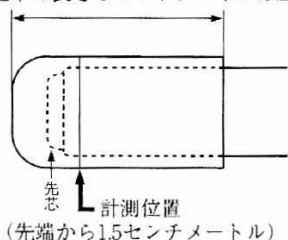
表2 二刀の場合の竹刀の長さ、重さ、太さ

	長さ (全長)	重さ	太さ	
			先端部最小直径	ちくとう部最小直径
大刀	114センチメートル以下	440グラム以上	25ミリメートル以上	20ミリメートル以上
小刀	62センチメートル以下	280～300グラム	24ミリメートル以上	19ミリメートル以上

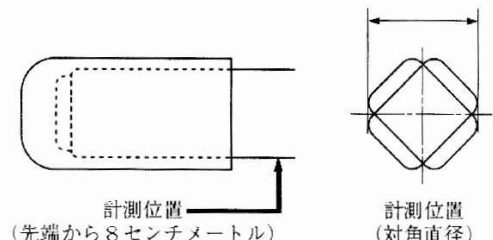
図 竹刀の先革長、先革先端部最小直径値、ちくとう直径値の計測方法

<竹刀の先革長、先端部最小直径値の計測方法>

先革の長さ5センチメートル以上



<ちくとうの最小直径値の計測方法>



12 新型コロナウイルス感染症対策について

※「主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン（全日本剣道連盟）」、「大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン（富山県剣道連盟）」に準ずる。その他、会場の施設利用要件を順守する。

- (1) 選手、役員、審判員、係員は、**健康チェックシートを提出**し、検温を行う。
- (2) 選手、役員、審判員、係員以外の入場を認めず**無観客**とする。ただし、富山県剣道連盟登録会員であり、健康チェックシートを提出し、検温に応じるなど大会本部の指示に従う場合は許可する。
- (3) 受付時の検温 37.5℃以上ある場合や、健康チェックシートの内容に問題がある場合は、入場を認めない。
- (4) 全日本剣道連盟の感染拡大予防ガイドラインに則り、選手に面マスク（口と鼻を覆うもの）及びシールド（シールドは口元を覆うものとし、形状の指定はしない）の着用を義務づける。
- (5) 選手、役員、審判員、係員は、待機中も含め常時マスクを着用する。
- (6) 役員、審判員、係員は、フェイスシールドを常時着用する。ただし、審判員は審判を行う際はフェイスシールドを着用しない。
- (7) 試合会場へ入場する選手は可能な限り少人数とし、ソーシャル・ディスタンスを保つ。応援は拍手のみとし、声援は控える。
- (8) 更衣室、待機場所では密にならないよう各自留意する。
- (9) 各試合場や出入口に手指消毒用アルコールを置くので、適宜使用する。
- (10) ゴミは各自持ち帰る。設置されたゴミ箱に捨てない。
- (11) 閉会式・表彰は入賞者のみで実施する。入賞者以外の選手は試合終了後、速やかに帰宅すること。
- (12) 正面玄関から入館し、剣道場へ向かうこと(剣道場近傍の玄関は封鎖)。

13 その他

- (1) 個人試合結果については、全日本都道府県対抗剣道優勝大会出場選手の選考資料とし、大会終了後、選考会議を行う。
- (2) 第70回 全日本都道府県対抗剣道優勝大会について
期日：令和4年4月29日（祝）
会場：大阪府

以上

本件問い合わせ先

(一財)富山県剣道連盟 大会部

武波 一昭

ichizai.tomikenren.moushikomi@gmail.com

